



2012年3月期(平成23年度)
第3四半期決算説明資料

2012年2月8日

ダイキン工業株式会社

2012年3月期第3四半期決算説明資料

第3四半期決算概況、全社業績…………… P.3-4

部門別業績…………… P.5-7

- ・部門別売上高/営業利益

第3四半期部門業績の概況…………… P.8-12

補足データ…………… P.13-16

- ・地域別売上高の推移—空調事業、化学事業

- ・設備投資、減価償却費、研究開発費

■ 第3四半期決算のポイント



厳しい経営環境が続く中、拡販策の積極展開やトータルコストダウンの推進により増収増益を確保。通期も増収増益を見込む。

第3四半期累計の売上高、営業利益は対前年で増収増益を確保

空調事業において国内での省エネ新商品の拡販、中国での販売体制の強化やインバータエアコンの伸長および化学事業が好調に推移。原材料市況高騰に対して売価政策徹底(値上げ)とトータルコストダウンを推進し収益を確保。また、東日本大震災、急激な円高の影響の極小化に努めた。

第3四半期以降の業績悪化要因が大きく、通期の連結業績予想を修正

欧州での債務問題に端を発した景気後退、オーストラリアでの需要期の天候不順、タイの大洪水による部品調達難、新興国通貨の下落、さらには家庭用除加湿清浄機の品質対応により、売上高および各利益がそれぞれ前回発表予想を下回る見込み。

第4四半期においても先進国の景気動向や為替変動など先行きは不透明だが、グループを挙げた収益確保策を徹底的に推進し増収増益をめざす。

空調事業では、成長著しいインド、トルコ、ブラジルなど新興国での事業拡大、化学事業では自動車向けなど好調な分野に重点を置いたグローバル拡販を積極的に進める。また、全社を挙げて固定費を中心としたトータルコストダウンを追加展開。

■ 第3四半期 全社業績と通期業績見通し



(億円)

	3Q(10-12月)			3Q累計(4-12月)			11年度計画		11年度計画	
	10年度	11年度	前年比	10年度	11年度	前年比	今回公表	前年比	11月公表	前年比
売上高	2,796	2,836	101%	8,505	9,054	106%	12,400	107%	12,800	110%
営業利益 (利益率)	160 (5.7%)	124 (4.4%)	78%	564 (6.6%)	603 (6.7%)	107%	780 (6.3%)	103%	900 (7.0%)	119%
経常利益 (利益率)	153 (5.5%)	102 (3.6%)	67%	543 (6.4%)	567 (6.3%)	105%	750 (6.0%)	100%	860 (6.7%)	115%
四半期純利益 (利益率)	63 (2.3%)	32 (1.1%)	50%	118 (1.4%)	313 (3.5%)	265%	360 (2.9%)	181%	460 (3.6%)	231%

為替レート

円/1ドル	83円	77円	—	87円	79円	—	78円	77円
円/1ユーロ	112円	104円	—	113円	111円	—	108円	109円

*為替影響(対前年度)

3Q(10-12月) 売上高: ▲160億円
 営業利益: ▲ 30億円
 3Q累計(4-12月) 売上高: ▲ 380億円
 営業利益: ▲ 50億円

*4Qの為替レート

1ドル=75円
 1ユーロ=100円(11月公表105円から変更)

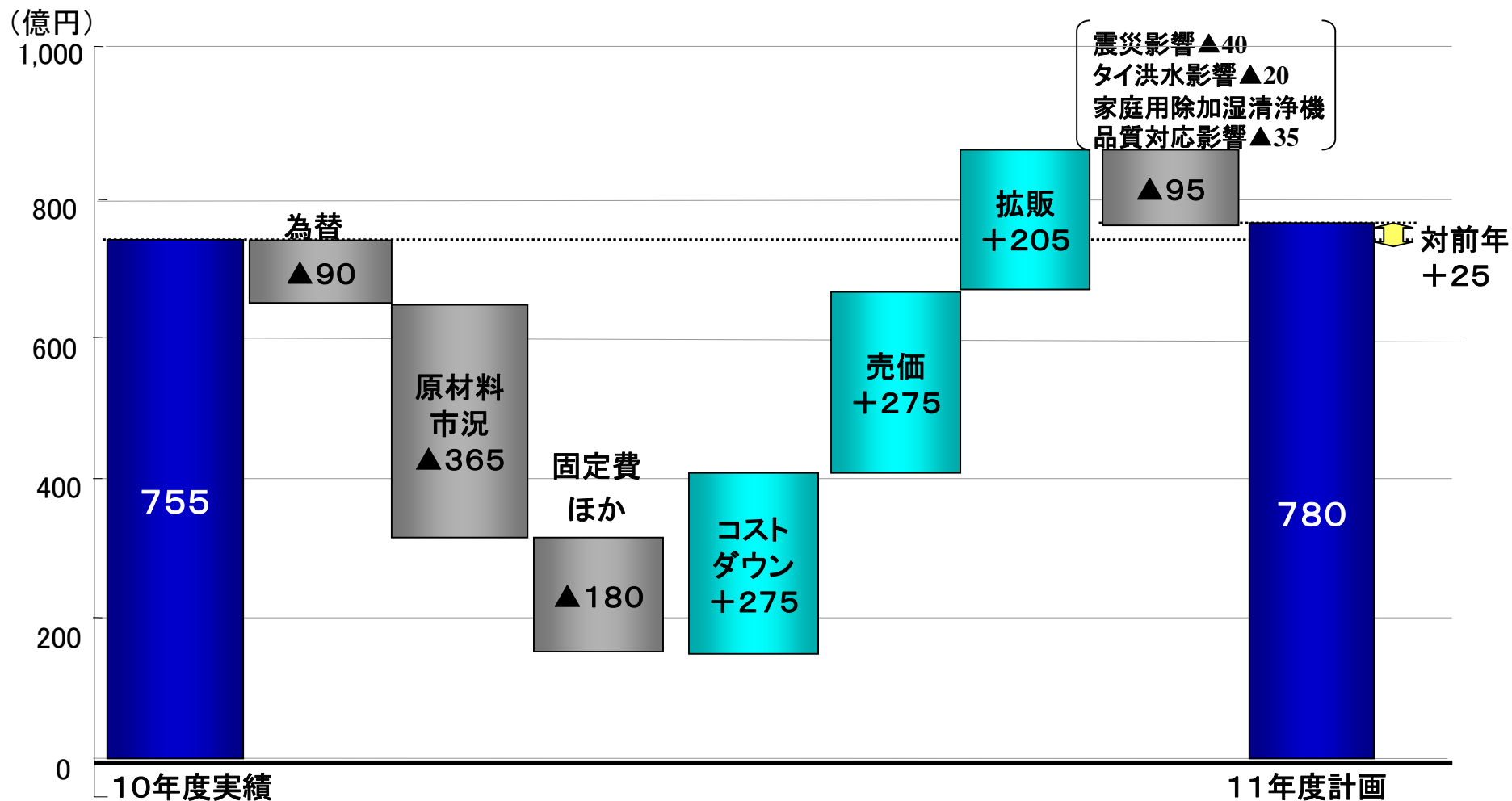
■部門別売上高/営業利益



(億円)

		3Q(10-12月)実績			3Q累計(4-12月)実績			11年度計画		11年度計画	
		2010年度	2011年度	前年比	2010年度	2011年度	前年比	今回公表	前年比	11月公表	前年比
全社	売上高	2,796	2,836	101%	8,505	9,054	106%	12,400	107%	12,800	110%
	営業利益 (利益率)	160 (5.7%)	124 (4.4%)	78%	564 (6.6%)	603 (6.7%)	107%	780 (6.3%)	103%	900 (7.0%)	119%
空調	売上高	2,440	2,448	100%	7,429	7,818	105%	10,600	106%	10,900	109%
	営業利益 (利益率)	151 (6.2%)	91 (3.7%)	60%	513 (6.9%)	471 (6.0%)	92%	580 (5.5%)	90%	700 (6.4%)	108%
化学	売上高	278	309	111%	816	953	117%	1,350	118%	1,450	126%
	営業利益 (利益率)	11 (3.9%)	36 (11.8%)	339%	57 (7.0%)	135 (14.2%)	237%	190 (14.1%)	175%	190 (13.1%)	175%
その他	売上高	79	79	100%	261	283	108%	450	110%	450	110%
	営業利益 (利益率)	▲2 —	▲4 —	—	▲7 —	▲3 —	—	10 (2.2%)	—	10 (2.2%)	—

■ 営業利益増減分析 -年間計画(今回公表)の対前年比較-



(参考)	10年度	為替	原材料	固定費	コスト	売価	拡販	震災影響	11年度
11月公表	営業利益	▲80	市況	ほか	ダウン				営業利益
	755	▲80	▲380	▲250	+290	+300	+305	▲40	900

■ 第3四半期部門業績の概況(空調事業)



国内

- ・住宅用は、前年の猛暑とエコポイント制度による特需の反動が懸念されたが、省エネ機器への買い替えが下支えし、業界需要はほぼ前年並みとなった。
当社は、節電効果を訴求した高付加価値機種種の拡販によりシェアアップ。
- ・業務用は、節電や省エネに対する意識が高く、更新需要中心に業界需要は前年を上回った。当社は、『Eco-ZEAS80』など省エネ性・節電効果の高い製品の拡販に努めた。あわせて原材料市況高騰に対応した売価アップを計画通り実施。
- ・エコキュートは、震災によるオール電化への消費マインドの低下で需要減少が続き、価格競争も激化。業界需要、当社販売とも厳しいが、太陽光パネルとの組み合わせなどソリューション提案を図り事業基盤を強化。

<国内空調業界・当社出荷台数>

	(千台)	1-3Q実績	前年比	年間計画(今回公表)	前年比	年間計画(11月公表)	前年比
住宅用	業界	6,697	99%	8,053	98%	8,006	96%
	当社	—	101%	—	102%	—	105%
業務用	業界	596	110%	830	106%	830	106%
	当社	—	104%	—	105%	—	106%
エコキュート	業界	375	89%	499	88%	539	95%
	当社	—	82%	—	83%	—	96%

■ 第3四半期部門業績の概況(空調事業)



欧州

- ・欧州金融危機が実体経済へ波及し、空調需要はさらに厳しい状況が続いている。
- ・住宅用は、冷夏の影響や長引く景気低迷により需要が冷え込み、イタリア・スペインなど主要国の落ち込みが大きく、販売は前年を下回った。
- ・業務用は、建築市場が低迷する中、ドイツやイギリスなど各国で強力な販売網を活かした営業活動により付加価値の高いVRVを重点に拡販。
- ・暖房は、最大市場であるフランスでの需要が後退する厳しい事業環境の中、その他の国での販売強化が進み、販売は前年を上回った。
- ・空調需要が伸びているトルコでは、7月に買収したエアフェル社の販売網を取り込み、順調に業績を拡大。
- ・需要低迷の中、欧州のニーズに合った商品(例:住宅用『Nexura(風を直接当てず輻射熱で冷暖房)』)を中心とした拡販や、比較的堅調な地域(イギリス、ドイツ、トルコ・中近東)を重点に拡販に努めると同時に、構造改革による固定費削減、経営資源の明確な優先順位付けなど先手を打った施策展開に取り組み中。

< 欧州製品別販売状況(台数ベース) >

(前年比)	1-3Q 実績	年間計画(今回公表)		年間計画(11月公表)	
		需要	当社計画	需要	当社計画
住宅用	90%	88%	91%	92%	92%
業務用	SKY	76%	93%	82%	98%
	VRV	109%	100%	106%	102%
暖房	107%	105%	106%	108%	115%
アプライド	126%	102%	119%	102%	123%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン
 ※VRV・・・ビル用マルチエアコン
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

■ 第3四半期部門業績の概況(空調事業)



中国

※暦年決算のため1-9月期

- ・円高、原材料市況高騰、金融引き締めなどのマイナス影響が発生しているが、小型から大型までのフルレンジでの拡販、大都市から中西部、内陸への拡販シフトにより売上高は2桁の伸びを継続。
- ・住宅用は、市場におけるインバータ化の加速により省エネ製品の販売が拡大。
業務用は、強力な販売網と中国独自仕様の商品、豊富な品揃えにより順調に伸ばした。
アプライドは、ターボ冷凍機など省エネ性の高い製品を中心に拡販。引き続き業界需要を上回る伸び。
- ・10月以降、金融引き締め、不動産投資抑制、インフラ投資の凍結などの影響により成長が鈍化傾向(特に都心部)にあるが、引き続き強力な販売網を活かした拡販により2桁の伸びを維持。

<大金中国 四半期別の売上高前年比の推移(現地通貨ベース)>

1Q (1-3月)	2Q (4-6月)	3Q (7-9月)	4Q (10-12月)
122%	132%	123%	115%

<中国製品別販売状況(台数ベース)>

(前年比)	1-3Q 実績	年間計画(今回公表)		年間計画(11月公表)	
		需要	当社計画	需要	当社計画
住宅用	136%	108%	130%	108%	146%
業務用	SKY	128%	120%	107%	128%
	VRV	125%	125%	105%	122%
アプライド	150%	116%	141%	116%	137%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン
 ※VRV・・・ビル用マルチエアコン
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

■ 第3四半期部門業績の概況(空調事業)

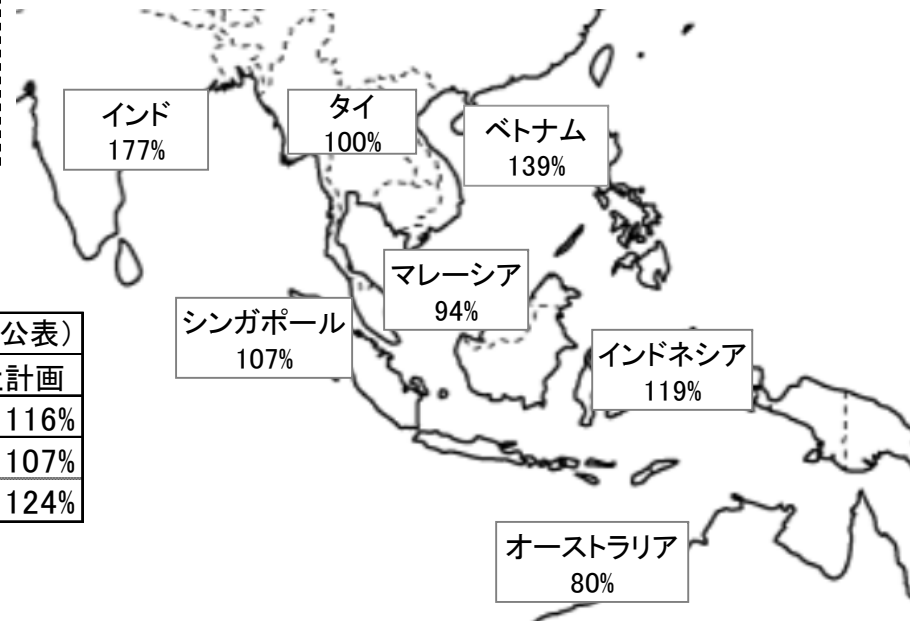


アジア・オセアニア

- ・シンガポールは堅調な経済環境を背景に住宅用、業務用とも順調に売上が拡大。
- ・インド、ベトナムは販売店開発・育成に取り組み、順調に売上が拡大。
(住宅用の販売台数前年比:インド255%、ベトナム138%)
- ・オーストラリアは、建築市況の低迷や冷夏により販売は前年を下回った。
- ・マレーシアでは天候不順の影響で特に住宅用を中心に販売が減少。

タイでの大規模洪水について
生産拠点での部品調達に影響が発生。サプライヤーの復旧支援や代替調達などの集中的な対策により、現在は生産を再開。製品在庫の活用も含め営業活動への影響極小化に努めている。

＜主な国の1-3Q売上高前年比(現地通貨ベース)＞



＜アジア・オセアニア製品別販売状況(台数ベース)＞

(前年比)	1-3Q実績	年間計画(今回公表)		年間計画(11月公表)	
		需要	当社計画	需要	当社計画
住宅用	113%	99%	111%	89%	116%
業務用	SKY	99%	100%	100%	103%
	VRV	114%	119%	119%	122%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン
※VRV・・・ビル用マルチエアコン

■ 第3四半期部門業績の概況(空調事業)



北米

- ・アプライドは、市場環境は厳しい中で、販売網やサービス体制の強化に加え、省エネ製品（磁気軸受ターボ・空冷チラーなど）の拡販により2桁の伸長。
- ・ダクトレスは、販売網の開発・育成が進んだことによる販売増や、高い省エネ性が評価されVRVの受注が堅調に進んだことにより販売を大きく伸ばした。

<北米製品別販売状況(台数ベース)>

(前年比)	1-3Q 実績	年間計画(今回公表)		年間計画(11月公表)	
		需要	当社計画	需要	当社計画
住宅用	98%	109%	110%	109%	115%
業務用	SKY	118%	114%	114%	124%
	VRV	122%	123%	123%	125%
アプライド	119%	99%	117%	99%	124%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン

※VRV・・・ビル用マルチエアコン

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

■ 第3四半期部門業績の概況(化学事業)



- ・市場拡大が進む中国を中心にフッ素化学商品の販売が好調に推移し、売上高、営業利益とも 対前年で大幅な増収増益で着地。
- ・下期に入り半導体市場の低迷や、中国でのインフラ投資の減速など需要は厳しくなっているが、堅調な自動車市場でフッ素ゴムなどの拡販や、スマートフォンやタブレット端末などに用いられるオプツール(表面防汚コーティング剤)など用途開発の推進、更なる固定費削減や生産効率アップにより、通期の営業利益は対前年で大幅な増益を確保。

<フッ素化学製品の販売状況(売上高ベース)>

(前年比)	1-3Q 実績	年間計画(今回公表)		年間計画(11月公表)	
		需要	当社計画	需要	当社計画
全フッ素化学品	117%	108%	117%	117%	126%
ガス	165%	110%	136%	116%	145%
樹脂ゴム	113%	105%	119%	114%	129%
化成品ほか	107%	—	106%	—	116%

補足データ

■ 地域別売上高の推移-空調事業



(億円)	08年度1~3Q		09年度1~3Q		10年度1~3Q		11年度1~3Q		11年度 3Q(10-12月)		11年度計画 (今回公表)		11年度計画 (11月公表)	
	日本	103%	2,828	86%	2,443	109%	2,658	107%	2,838	104%	870	106%	3,870	106%
ヨーロッパ	87%	2,217	75%	1,665	94%	1,572	94%	1,483	84%	390	92%	1,960	99%	2,120
中国	109%	1,113	87%	974	126%	1,228	120%	1,475	113%	522	118%	1,920	123%	2,000
アジア	105%	781	78%	608	134%	816	104%	847	91%	258	110%	1,200	119%	1,300
アメリカ	100%	793	82%	646	104%	674	105%	709	103%	233	105%	940	105%	940
オセアニア	86%	294	99%	291	103%	300	83%	250	80%	92	93%	370	100%	400
中近東	136%	198	62%	122	106%	130	130%	169	204%	68	150%	270	111%	200
アフリカ	122%	79	72%	57	91%	52	92%	47	82%	14	100%	70	100%	70
計	99%	8,302	82%	6,806	109%	7,429	105%	7,818	100%	2,448	106%	10,600	109%	10,900

※左肩の数字は前年比

海外売上高比	66%	64%	64%	64%	66%	63%	64%
為替レート(ドル/円)	103円	94円	87円	79円	77円	78円	84円
(ユーロ/円)	151円	133円	113円	111円	104円	108円	112円

※為替影響を除く実質前年比

	3Q累計	3Q期間	年間計画 (今回公表)	年間計画 (11月公表)
ヨーロッパ	96%	91%	96%	103%
中国	127%	118%	124%	128%
アメリカ	116%	111%	116%	117%

■ 地域別売上高の推移-化学事業



(億円)	08年度1~3Q		09年度1~3Q		10年度1~3Q		11年度1~3Q		11年度 3Q(10-12月)		11年度計画 (今回公表)		11年度計画 (11月公表)	
日本	94%	342	69%	235	145%	340	102%	348	91%	107	105%	490	114%	535
アメリカ	96%	212	70%	148	127%	189	108%	205	126%	74	118%	320	118%	320
アジア	104%	67	69%	46	166%	77	148%	113	126%	36	131%	140	150%	160
中国	120%	126	72%	90	147%	133	152%	201	137%	66	138%	265	156%	300
ヨーロッパ	99%	81	67%	54	130%	70	110%	77	107%	24	121%	120	121%	120
その他	731%	10	94%	9	82%	7	120%	9	100%	3	143%	15	143%	15
計	100%	837	70%	583	140%	816	117%	953	111%	309	118%	1,350	126%	1,450

※左肩の数字は前年比

海外売上高比	60%	61%	58%	64%	58%	64%	63%
為替レート(ドル/円)	103円	94円	87円	79円	77円	78円	84円
(ユーロ/円)	151円	133円	113円	111円	104円	108円	112円

※為替影響を除く実質前年比

	3Q累計	3Q期間	年間計画 (今回公表)	年間計画 (11月公表)
アメリカ	119%	138%	130%	132%
中国	160%	144%	145%	162%
ヨーロッパ	112%	112%	127%	126%

■設備投資、減価償却費、研究開発費



■設備投資、減価償却費、研究開発費の進捗

	2010年度		2011年度		
(億円)	第1-3Q	年間実績	第1-3Q	年間計画 (今回公表)	年間計画 (11月公表)
設備投資	194	299	312	420	450
減価償却費	295	398	280	400	400
研究開発費	229	308	255	330	330



ダイキン工業株式会社

予測に関する注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。